



社員・関係企業で働く仲間を コロナウイルス感染症に 感染させるつもりか！！（怒） 労働者の健康を守るために、 会社は情報を隠さず開示しろ！

昨日（31日）、大阪の鳥飼車両基地にて、15時17分に入線してきた6878A（G41編成）車内清掃を関連企業の関西サービック係員が着手しました。

15時36分にJR東海会社から関西サービックの当直に、「G41編成の3号車にコロナウイルス感染者が乗車していた。」との連絡が入ったようであるが、「コロナウイルス感染者がいつ、乗車していたのかは不明で関西サービックからJR東海会社へ問い合わせ中である。」とのこと。

車内清掃が、ほとんど終了する頃になって、関西サービック会社の管理者が慌てて走ってきて、JR東海会社から「G41編成に、コロナウイルス感染者が乗車していた。」との連絡が今頃来た！と、怒っていたそうです。

当日、G41編成の3号車の車内清掃を担当した関西サービック会社の係員の制服上下と靴は、関西サービック会社に預けたそうです。

私たち、公共交通機関で働く労働者は、不特定多数の人々と接触する機会が多く、コロナウイルスに感染するリスクは非常に高くなっています。だから会社は、社員の安全と健康を守る義務があるのです！

JR東海会社は、行政機関などからコロナウイルス感染症に感染した人の乗車情報が入れば、至急情報伝達を行い、該当する車両・編成の消毒を行うのはもちろん、通常作業については直ちに作業を中止させるべきです。

私たちJR東海労は、情報は隠さず全てについて明らかにし、現場で働く人々が安心して働ける環境をつくることを求めます！